【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-69149(P2000-69149A)
【公開日】平成12年3月3日(2000.3.3)
【出願番号】特願平10-247823
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｍ　1/57
　Ｈ０４Ｑ　7/14
　Ｈ０４Ｑ　7/38
　Ｈ０４Ｍ　1/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｍ　1/57
　Ｈ０４Ｍ　1/00　　Ｋ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０３Ｅ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｌ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｒ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｍ
　Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月27日(2005.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムの通信端末において、
　通信端末情報を取得する情報取得手段と、
　この情報取得手段により取得した情報を前記接続端末に接続端子を介して出力する出力手段と、
　前記接続端末から出力される前記携帯端末からの情報を入力させる入力手段と、
　この入力手段により入力された前記携帯端末からの情報に基づき制御を実行する制御手段とを備えたことを特徴とする通信端末。
【請求項２】
　前記通信端末情報は、着信時に通信回線を介して送られてくる発信者情報であることを特徴とする請求項１記載の通信端末。
【請求項３】
　前記出力手段は、前記発信者情報を着信報知信号とともに出力することを特徴とする請求項２記載の通信端末。
【請求項４】
　前記通信端末情報は、前記通信端末の端末状態情報であることを特徴とする請求項１記載の通信端末。
【請求項５】
　前記端末状態情報は、前記通信端末の受信状態、電源状態、設定状態の何れかであることを特徴とする請求項４記載の通信端末。

【請求項６】
前記携帯端末からの情報は、当該通信端末が有する機能を制御するための機能制御情報であり、前記制御手段は、この機能制御情報に従って設定処理を実行することを特徴とする請求項１記載の通信端末。
【請求項７】
前記携帯端末からの情報は、当該通信端末が有する通信動作を制御するための通信制御情報であり、前記制御手段は、この通信制御情報に従って通信処理を実行することを特徴とする請求項１記載の通信端末。
【請求項８】
前記携帯端末からの情報は、当該通信端末を外部接続可能にするために必要な個人情報であり、前記制御手段は、この個人情報の送信処理を実行することを特徴とする請求項１記載の通信端末。
【請求項９】
前記携帯端末からの情報は、当該通信端末をネットワークに接続するに必要な認証動作を制御するための認証制御情報であり、前記制御手段は、この認証制御情報に従って認証処理を実行することを特徴とする請求項１記載の通信端末。
【請求項１０】
通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムの接続端末において、
前記通信端末から接続端子を介して出力される当該通信端末の情報を取得する情報取得手段と、
この情報取得手段により取得した情報を前記携帯端末に無線送信する送信手段と、
前記携帯端末から無線送信される情報を受信する受信手段と、
この受信手段により受信された情報を前記通信端末に出力する出力手段とを備えることを特徴とする接続端末。
【請求項１１】
通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムの携帯端末において、
前記接続端末から無線送信される前記通信端末の情報を受信する情報受信手段と、
この情報受信手段により受信した情報を表示する表示手段と、
前記通信端末に入力されるべき情報を生成する情報生成手段と、
この情報生成手段により生成された情報を前記接続端末に無線送信する送信手段とを備えたことを特徴とする携帯端末。
【請求項１２】
前記通信端末の情報は、前記通信端末が着信したとき取得した発信者情報であることを特徴とする請求項１１記載の携帯端末。
【請求項１３】
前記通信端末の情報は、前記通信端末が着信したとき取得したメッセージ情報であることを特徴とする請求項１１記載の携帯端末。
【請求項１４】
前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末が有する機能を制御するための機能制御情報であることを特徴とする請求項１１記載の携帯端末。
【請求項１５】
前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末が有する通信動作を制御するための通信制御情報であることを特徴とする請求項１１記載の携帯端末。
【請求項１６】
前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末を外部接続可能にするために必要な個人情報である請求項１１記載の携帯端末。
【請求項１７】
前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末をネットワークに接続するに必要

な認証動作を制御するための認証制御情報であることを特徴とする請求項１１記載の携帯端末。

【請求項１８】

通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムにおいて、

前記通信端末は、

通信端末情報を取得する情報取得手段と、

この情報取得手段により取得した情報を前記接続端末に接続端子を介して出力する出力手段と、

前記接続端末から出力される前記携帯端末からの情報を入力させる入力手段と、

この入力手段により入力された前記情報に基づき制御を実行する制御手段とを備え、

前記接続端末は、

前記携帯端末から無線送信される情報を受信する受信手段と、

この受信手段により受信された情報を前記通信端末に出力する出力手段と、

前記携帯端末から無線送信される情報を受信する受信手段と、

この受信手段により受信された情報を前記通信端末に出力する出力手段とを備え、

前記携帯端末は、

前記接続端末から無線送信される前記通信端末の情報を受信する情報受信手段と、

この情報受信手段により受信した情報を表示する表示手段と、

前記通信端末に入力されるべき情報を生成する情報生成手段と、

この情報生成手段により生成された情報を前記接続端末に無線送信する送信手段とを備えることを特徴とする携帯端末システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために請求項１記載の通信端末にあっては、通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムの通信端末において、通信端末情報を取得する情報取得手段と、この情報取得手段により取得した情報を前記接続端末に接続端子を介して出力する出力手段と、前記接続端末から出力される前記携帯端末からの情報を入力させる入力手段と、この入力手段により入力された前記情報に基づき制御を実行する制御手段とを備えている。したがって、通信端末から接続端末に当該通信端末が有する情報、例えば受信電波強度、圏外、位置登録更新、設定情報、通信履歴等を出力し、すると接続端末がこれを携帯端末に無線送信し、この送信される情報を携帯端末側で表示する等が可能となる。また、通信端末を取り出して直接操作せずとも、携帯端末で通信端末を制御し得る。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

また、請求項３記載の通信端末にあっては、前記出力手段は、前記発信者情報を着信報知信号とともに出力する。したがって、携帯端末で着信とともに発信者を確認し得る。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、請求項４記載の通信端末にあっては、前記通信端末情報は、前記通信端末の端末状態情報である。したがって、通信端末が現在待受け中、留守録中等のどのような状態にあるかを、携帯端末で確認し得る。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
また、請求項６記載の通信端末にあっては、前記携帯端末からの情報は、当該通信端末が有する機能を制御するための機能制御情報であり、前記制御手段は、この機能制御情報に従って設定処理を実行する。したがって、設定モードを変更する場合、直接通信端末を操作せずとも、携帯端末側でこれを行い得る。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、請求項７記載の通信端末にあっては、前記携帯端末からの情報は、当該通信端末が有する通信動作を制御するための通信制御情報であり、前記制御手段は、この通信制御情報に従って通信処理を実行する。したがって、通信端末を直接操作すれば無論のこと、携帯端末側での操作によってもメッセージの送信等が可能となる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また、請求項８記載の通信端末にあっては、前記携帯端末からの情報は、当該通信端末を外部接続可能にするために必要な個人情報であり、前記制御手段は、この個人情報の送信処理を実行する。したがって、例えば、次世代のＦＰＬＭＴＳ（Future Public Land Mobile Telecom System）などでのＵＰＴサービス（Universal Personal Telecom.）で、個人に付与される世界唯一の個人電話番号ＰＴＮ（PersonalTelecom.Number）の利用やＰＴＮでの着信が行われる場合、その事前手続を通信端末からは無論のこと、携帯端末側からでも行うことが可能となる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１４】
また、請求項９記載の通信端末にあっては、前記携帯端末からの情報は、当該通信端末をネットワークに接続するに必要な認証動作を制御するための認証制御情報であり、前記制御手段は、この認証制御情報に従って認証処理を実行する。したがって、認証を伴うインターネット等への接続を接続端末で行うことも可能となる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、請求項１０記載の接続端末にあっては、通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムの接続端末において、前記通信端末から接続端子を介して出力される当該通信端末の情報を取得する情報取得手段と、この情報取得手段により取得した情報を前記携帯端末に無線送信する送信手段と、前記携帯端末から無線送信される情報を受信する受信手段と、この受信手段により受信された情報を前記通信端末に出力する出力手段とを備える。したがって、この接続端末を通信端末に装着しておけば、携帯端末側で通信端末の情報を得ることができると共に携帯端末で通信端末を制御することも可能となる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、請求項１１記載の携帯端末にあっては、通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムの携帯端末において、前記接続端末から無線送信される前記通信端末の情報を受信する情報受信手段と、この情報受信手段により受信した情報を表示する表示手段と、前記通信端末に入力されるべき情報を生成する情報生成手段と、この情報生成手段により生成された情報を前記接続端末に無線送信する送信手段とを備える。したがって、通信端末を鞄等に入れていても鞄等から通信端末を取り出すこと無く、携帯端末により通信端末の状態を確認し得る。また、通信端末を直接操作せずとも、携帯端末側で通信端末に記憶させる情報等を入力し得る。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
また、請求項１２記載の携帯端末にあっては、前記通信端末の情報は、前記通信端末が着信したとき取得した発信者情報である。したがって、通信端末を鞄等に入れていても鞄等から通信端末を取り出すこと無く、携帯端末により発信者を確認し得る。
【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
　また、請求項１３記載の携帯端末にあっては、前記通信端末の情報は、前記通信端末が着信したとき取得したメッセージ情報である。したがって、通信端末を鞄等に入れていても鞄等から通信端末を取り出すこと無く、受信したメッセージを携帯端末で確認し得る。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
　また、請求項１４記載の携帯端末にあっては、前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末が有する機能を制御するための機能制御情報である。したがって、設定モードを変更する場合等、直接通信端末を操作せずとも、携帯端末側でこれを行い得る。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
また、請求項１５記載の携帯端末にあっては、前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末が有する通信動作を制御するための通信制御情報である。したがって、通信端末を直接操作すれば無論のこと、携帯端末側での操作によってもメッセージの送信等が可能となる。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
　また、請求項１６記載の携帯端末にあっては、前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末を外部接続可能にするために必要な個人情報である。したがって、特定のサービスを受ける場合の事前手続を、携帯端末側で行い得る。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
　また、請求項１７記載の携帯端末にあっては、前記通信端末に入力されるべき情報は、当該通信端末をネットワークに接続するに必要な認証動作を制御するための認証制御情報

である。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
また、請求項１８記載の携帯端末システムにあっては、通信端末、該通信端末に着脱自在に接続される接続端末、該接続端末と無線により接続する該接続端末と別体の携帯端末を有する携帯端末システムにおいて、前記通信端末は、当該通信端末の情報を取得する情報取得手段と、この情報取得手段により取得した情報を前記接続端末に接続端子を介して出力する出力手段と、前記接続端末から出力される前記携帯端末からの情報を入力させる入力手段と、この入力手段により入力された前記情報に基づき制御を実行する制御手段とを備え、前記接続端末は、前記携帯端末から無線送信される情報を受信する受信手段と、この受信手段により受信された情報を前記通信端末に出力する出力手段と、前記携帯端末から無線送信される情報を受信する受信手段と、この受信手段により受信された情報を前記通信端末に出力する出力手段とを備え、前記携帯端末は、前記接続端末から無線送信される前記通信端末の情報を受信する情報受信手段と、この情報受信手段により受信した情報を表示する表示手段と、前記通信端末に入力されるべき情報を生成する情報生成手段と、この情報生成手段により生成された情報を前記接続端末に無線送信する送信手段とを備える。したがって、通信端末に接続端末を装着しておくことにより、通信端末を鞄等に入れていても鞄等から通信端末を取り出すこと無く、通信端末の状態を確認し得るシステムが確立される。また、通信端末を取り出すこと無く、携帯端末により通信端末を操作し得るシステムが確立される。
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】